

Medicine for the last mile

～すべてのアフリカの人々へ健康と笑顔を～

NPO法人AfriMedico

理事 青木 基浩

理事 山口 牧子



今、200円あつたら
何をしますか？

医療を通じてアフリカと日本を繋ぎ

健康と笑顔を届ける

Medicine for the last mile

～すべてのアフリカの人々へ健康と笑顔を～



自己紹介



青木 基浩(Motohiro Aoki)

- 大学卒業後、製薬企業に入社。
- (置き薬のふるさと)富山での勤務を起点とし、感染症領域MRとしての経験
- 製薬企業向け情報サービス企業、コンサルティングファームなどにおいて、創薬から上市に至る医薬品ライフサイクル全般における知見を集積
- AfriMedicoのミッションに強く共感、2016年5月より理事として参画。企業連携、財務等を担当。

山口 牧子(Makiko Yamaguchi)

- 外国語学部フランス語学科卒、オフィス機器メーカーにて海外マーケティング等をへて新規事業開発担当。
- 学生時代に訪れたモロッコでベン一つで喜んで走り回る子供たちの光景が脳裏に焼きつき、"ビジネスを通じてアフリカに貢献を"という夢をもつ。
- また日本をもっと元気にしたい、と思っているさなかにAfriMedicoと出会い、これだ！と思い活動に加わる。
- 2016年10月より理事として参画。海外戦略、広報、人事を担当

AfriMedico設立

代表理事 町井の紹介



AfriMedico設立まで ~ボランティアへの目覚め

大学時代
(薬学部)

製薬会社
勤務

青年海外
協力隊



インドのマザーテレサの家で
初ボランティア
ボランティアに目覚める

休みごとにボランティア
短期ボランティアに限界

青年海外協力隊（2年）
ニジェール共和国にて
ボランティア活動



AfriMedico設立まで ~研究からカタチへ

MBA
大学院入学

大学院
研究

NPO法人
設立

医療での限界
マネジメントにより
仕組みを学びたい

アフリカの医療の改善を
テーマに研究開始。
アフリカのみではなく、
日本のためにもなる事を

大学院メンバーとカタチ
に法人化へ



「子供が高熱で、死ぬかもしれないの。

病院に行くのでお金を1000FCFA(200円)ちょうだい！

日本人はお金持ちでしょ？」

.org



あなたなら、どうしますか？

A : あげる

B : あげない

次に村に行くと・・・その子供は亡くなっていました。
何が正しかったのでしょうか？

ボランティアで経験した時の1例ですが
多くの場所でこのようなことは
起こっています。

つまり、根本的な解決により

”継続して回せる仕組み”が必要である

AfriMedico設立

なぜ置き薬？？



問題解決の1つの手段として、置き薬システムは非常に適している

アフリカ医療の問題点

病院が遠く、時間・費用負担大きい

待ち時間が長い

病院に薬がない

偽薬が出回っている

所得に占める医療費が高い

置き薬で解決できる点

➤ 必要時に、必要な薬の使用が可能

➤ 待ち・移動時間が不要

➤ 交通費・診察費が不要

➤ 日本の薬を申請方向

置き薬(配置薬)の仕組みの特徴



前田正甫 (まさとし)

300年の歴史

先用後利

BIG DATA



反魂丹 (はんごんたん)



懸場帳 (かけばちょう)

昔の日本と今のアフリカの共通点



配置薬が機能した当時の日本の環境

インフラが未整備

大家族

皆保険制度がない



→今のアフリカ農村部の状況はこれにそっくり。

これまでの軌跡 1/2

研究からスタートし、Evidenceに沿って実行中

Evidence の構築

住民に
寄り添う

現地ニーズ
調査

見直し

検証

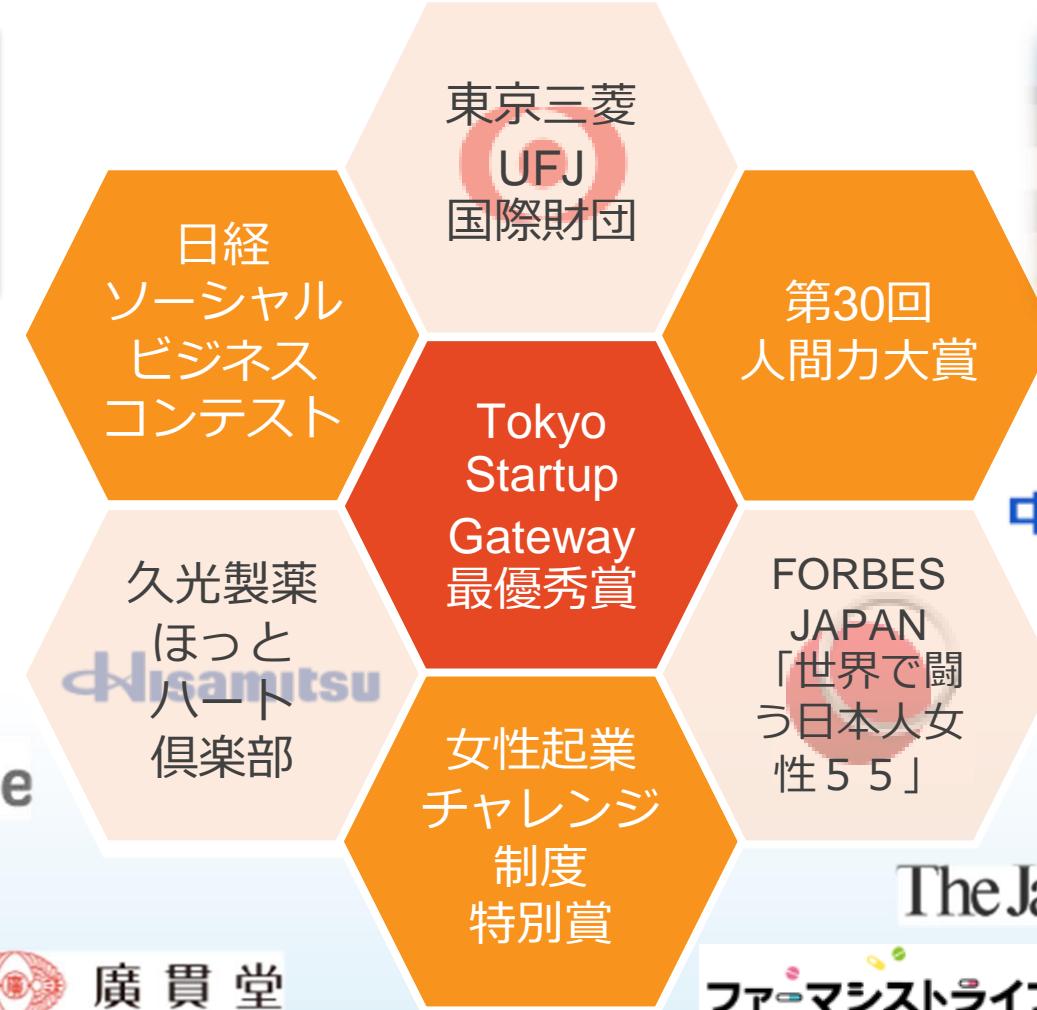
セルフ
メディケーション

これまでの軌跡 2/2

ビジネスコンテスト・認知活動により団体・企業との連携が進行



事業連携



中日新聞
東京新聞



過去の水平展開に留まらない新しい挑戦

AfriMedicoの提案する「アフリカ版」、「現代版」の新しい“OKIGUSURI”



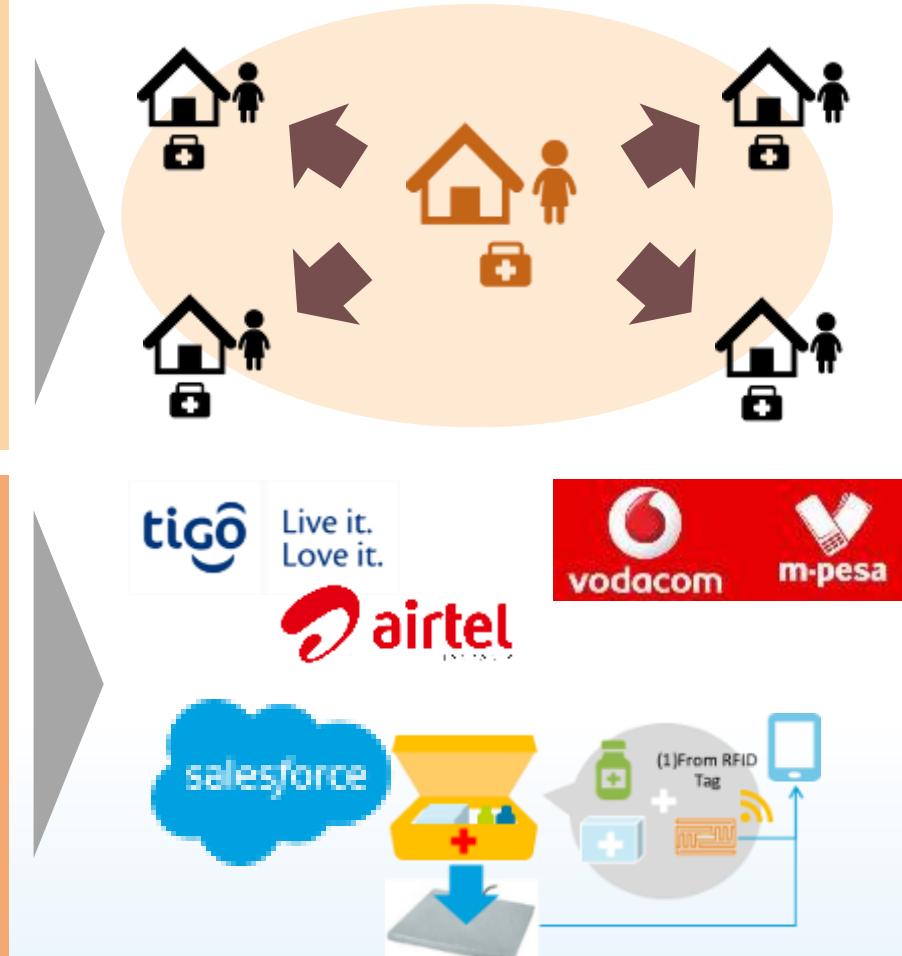
アフリカ市場
への適合

- ◆ 現地疾病への対応
→ マラリア・下痢
- ◆ 設置場所の検討
→ 村役場・学校
- ◆ 置き薬センター
→ 予防・健康の学び舎



ITを活用
した管理

- ◆ モバイルマネーを活用し
た代金回収
- ◆ 簡便に使用できる薬剤在
庫管理アプリ開発
→ クラウドを使ったタイム
リーな在庫把握システムへ

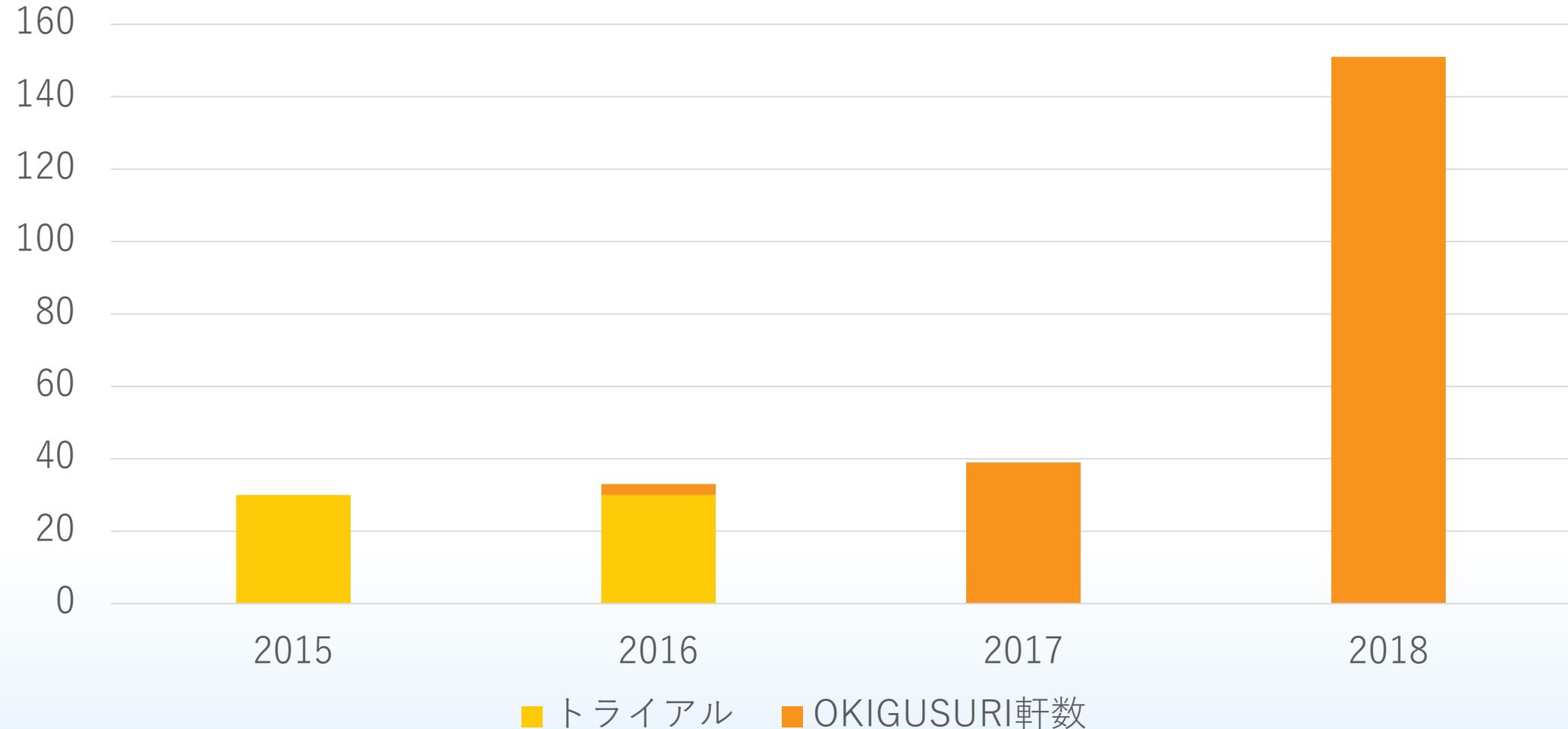


タンザニアにおける 現在の活動状況

置き薬の現状



“OKIGUSURI”設置軒数の推移



活動拠点



ブワマ(Bwama)村位置

空港から約2時間、
DES中心地から約3時間

勿論、Googleマップ表示なし・・・



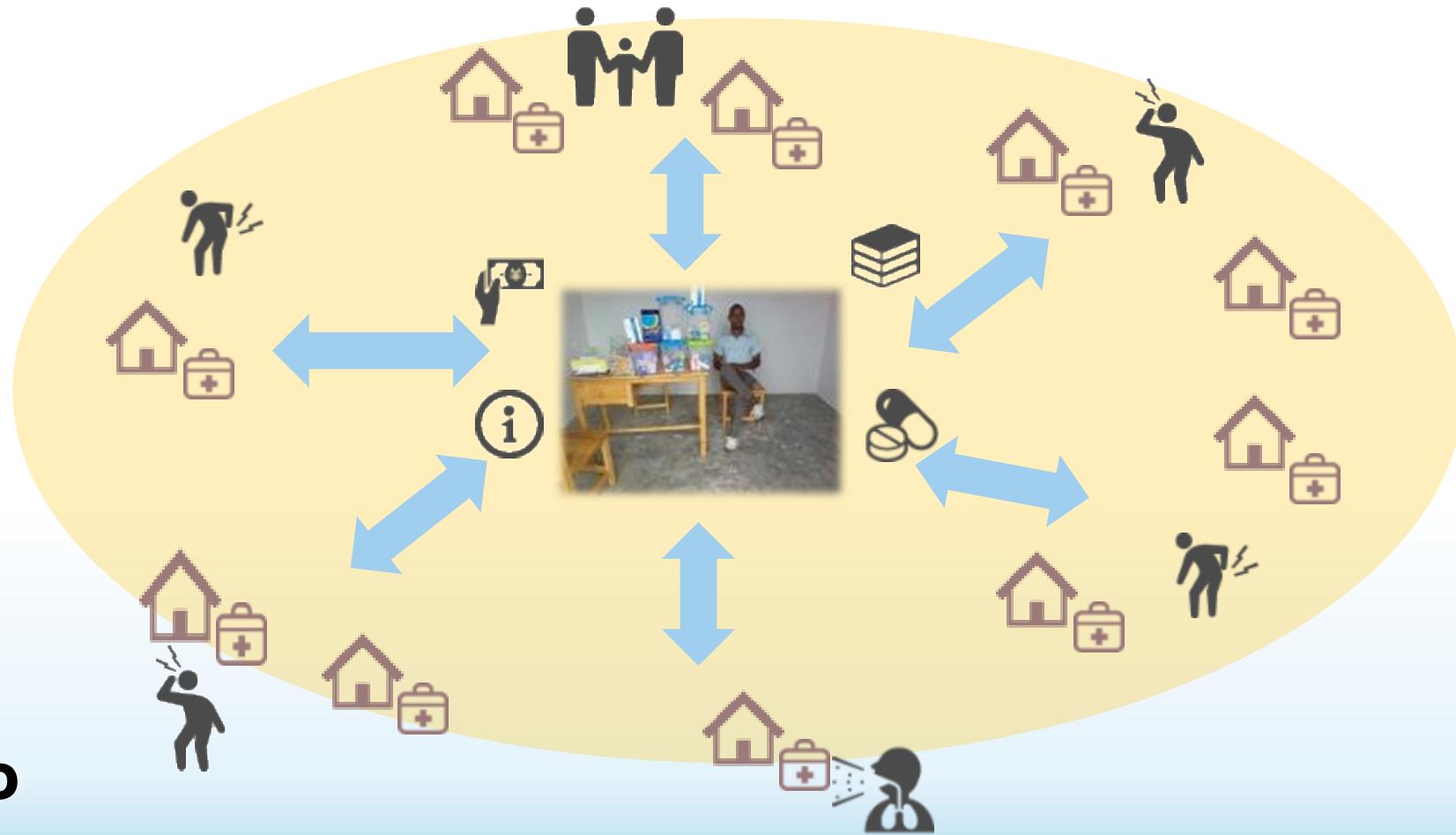
ブワマ村概要:構成

- ・人口：約2,500人
- ・宗教：キリスト教、イスラム教
- ・教会2軒（カトリック、プロテスタント）、モスク1軒
- ・主産業：農業（キャッサバ、バナナ、米、カシューナッツ、フルーツ）



OKIGUSURIセンター

各家の置き薬の拠点となり、村の健康を守る保健センターとして機能
「薬補充」「代金回収」「医療教育」「情報発信」を担う



「医療教育」としての役割

OKIGUSURI マネージャーによる教育・啓蒙→疾病予防に貢献



“OKIGUSURI”在庫管理 システムの開発

AMOREとSalesforce



AMOREとは？

AMORE(AfriMedico's Okigusuri in Remote Environments)は、離れた場所(タンザニア)の置き薬の情報を日本で閲覧・確認し、管理するために実現したソフトウェア環境

第1フェーズ(2018年2月～)

タンザニアのメンバーが現地で薬剤の写真をスマートフォンで撮影し、ファイルの自動同期機能を利用して日本のメンバーと画像データを共有する

第2フェーズ(2018年9月～)

薬剤画像をセールスフォース・ドットコム様がご提供するAI機能(Einstein Vision)により薬剤の名称を自動的に認識し、Salesforceへ登録することを支援する

第1フェーズ：現地で撮影した写真が日本で確認できるように



- ・薬が重なっていることも多く、識別が困難
- ・目視で薬剤個数カウントをしているので手間がかかっていた



第2フェーズ

- Salesforce様ご提供のEinstein Vision AI機能を活用
- 撮影用の場所を書いた敷布を用意



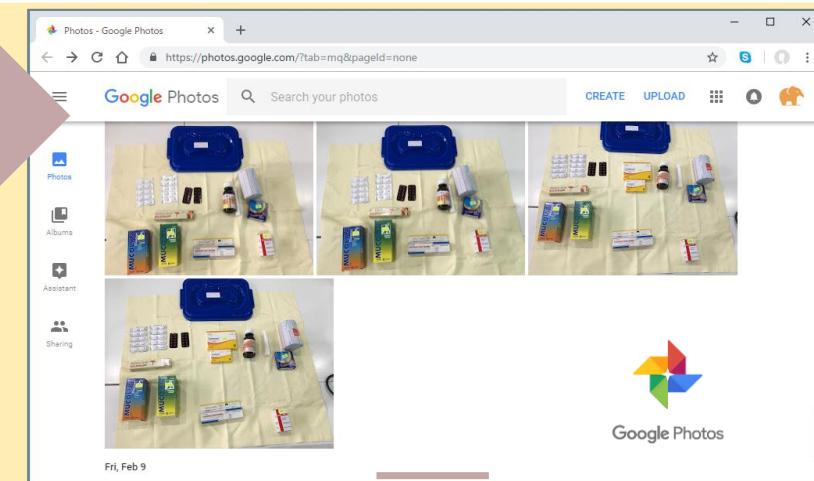
第2フェーズ: AMOREの処理の流れ



写真撮影



一覧表示

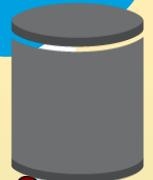


Einstein
Vision

認識

登録

salesforce



AfriMedico

AMORE 認識結果

訪問記録ID: a006F000035D11			
選択	色	対象物	個数
<input checked="" type="checkbox"/>	lightblue	MUCOLYN(B)	1
<input checked="" type="checkbox"/>	red	Panadol	2
<input type="checkbox"/>	red	Panadol	1
<input checked="" type="checkbox"/>	yellow	Vivian	2
<input checked="" type="checkbox"/>	pink	DERMOSPORIN	1
<input checked="" type="checkbox"/>	orange	DICLOPHAM	1
<input checked="" type="checkbox"/>	gold	MUCOLYN(G)	1
<input checked="" type="checkbox"/>	green	U-SOL	1
<input checked="" type="checkbox"/>	cyan	Salama	1
<input checked="" type="checkbox"/>	coral	Absorbent Cotton Wool	1
<input checked="" type="checkbox"/>	hotpink	Finazol	1
<input type="checkbox"/>	n/a	薬剤名1	
<input type="checkbox"/>	n/a	薬剤名2	
<input type="checkbox"/>	n/a	薬剤名3	

Powered by Salesforce Einstein Platform Services

〈デモ〉

最後に

皆様へお願ひです。ぜひ応援お願ひ致します！

1. IT人材募集・プロボノとして、活動推進へのご協力

...一緒に頑張ってくれる方、募集中です！活動に火が付きます！

2. 認定NPO法人取得に向け、寄付応援メンバー100人へのご協力

(月500円から可能です)

...置き薬の数を増やせます！

3. ボランティアブースにきてください！！



皆様方、企業の資金、技術によるご支援を必要としています。
是非一緒に、アフリカでソーシャルイノベーションを起こしましょう

医療を通じてアフリカと日本を繋ぎ
健康と笑顔を届ける

Medicine for the last mile

～すべてのアフリカの人々へ健康と笑顔を～



日本発祥の置き薬を世界の途上国へ届け
健康と笑顔を広げていきます。

ご清聴ありがとうございました。

thank you

